

令和3年度 公益財団法人長野市スポーツ協会事業報告書

1 競技水準向上事業

優秀選手の育成を図るため、加盟団体が実施する競技水準向上のための日常練習や強化合宿（練習）等に要する経費に対し補助金を交付し、経費の一部を助成した。

(1) 選手育成事業（プロジェクトE（選手育成強化））

全国大会等出場レベルの選手の育成を強化するため実施する、日常練習や強化合宿（練習）等に要する経費の一部を補助した。

8団体：陸上、スキー、バレーボール、体操、ソフトテニス、バドミントン、サッカー、エアロビック

※新型コロナウイルス感染予防のため、1団体で中止。

(2) 指導者等育成事業

優秀な指導者等を養成するため、日本スポーツ協会及び加盟団体公認のスポーツ指導者資格及び審判員資格取得に要する経費、及び各種研修会等への参加に要する経費の一部を補助した。

6団体：スキー、馬術、ライフル射撃、アイスホッケー、ゲートボール、エアロビック

(3) 優秀選手・指導者等招へい事業

競技水準の向上及びスポーツの普及を図るため、国際大会や全国大会への出場経験を持つ優れた選手、チーム及び指導者等による、実技指導や交流試合の開催に要する経費の一部を補助した。

5団体：陸上、スキー、バスケットボール、馬術、アイスホッケー

※新型コロナウイルス感染予防のため、3団体で中止。

(4) 選手強化競技用具整備事業

加盟団体が推進する競技水準向上事業等において、必要な競技用具の購入に要する経費の一部を補助した。

3団体：馬術、ライフル射撃、エアロビック

(5) ジュニアスケート選手強化対策事業

長野市で継続開催している全国中学校スケート大会を捉え、地元ジュニアスケート選手の技術力向上及び強化を図るために長野市スケート協会が実施した競技水準向上事業に対し、ジュニアスケート選手強化対策事業補助金規程に基づき、経費の一部を補助した。

(6) 国体選手等壮行会開催事業

新型コロナウイルス感染症拡大のため、第76回国民体育大会会期前大会及び本大会が中止になったため、9月開催予定の壮行会は中止。また、第77回国民体育大会冬季大会については、感染症予防のため、壮行会開催を中止とした。

2 全国大会等出場選手強化基本構想プログラム

5つのプロジェクトから構成された本プログラムの実施により、全国大会等へ出場し、活躍する選手の強化育成支援を通して、長野市で生まれ育った多くのトップアスリートを輩出し、選手の活躍がもたらすスポーツの魅力、スポーツの力が、長野市のスポーツ振興に寄与し、ひいては明るく元気なまちづくりに繋がることを目的とし、県、国などの関係機関が実施する同様の事業と連携・協働することを鑑みながら、実施した。

(1) プロジェクトA「全国大会等出場選手強化事業補助金」

全国大会等出場選手強化事業補助金交付規程に基づき、加盟団体が実施する競技水準向上事業に対し補助した。

8団体：陸上、水泳、スキー、スケート、弓道、アイスホッケー、障害者スポーツ、エアロビック

※新型コロナウイルス感染予防のため、1団体で中止。

(2) プロジェクトB「練習等環境支援」

強化指定選手、強化指定チーム及び強化認定指導者が、競技水準向上のため使用するスポーツ施設の使用料を補助した。

3施設：長野運動公園、エムウェーブ、ビッグハット

6団体：陸上、水泳、スケート、卓球、弓道、アイスホッケー

(3) プロジェクトC「指導者養成支援」

強化認定指導者が、スキルアップのため参加する研修会等の旅費を補助するものであるが、申請はなかった。

(4) プロジェクトD「スキルアップ研修会等開催」

強化指定選手、強化指定チーム及び強化認定指導者のスキルアップ、スポーツ・インテグリティの保護・強化を目的に、研修を行った。

＜スキルアップ研修会＞

10月20日(水) 長野市芸術館 アクトスペース 参加者 67人

講師：畑喜美夫氏（一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会 代表理事）

演題：『自ら考えて積極的に行動する力を育むボトムアップ理論』～挑戦編～

※新型コロナウイルス感染症予防のため、人数を制限して実施。

＜スポーツ・インテグリティ研修会＞

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催中止。

講師を依頼していた武藤芳照氏（一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 代表理事、東京大学名誉教授）、櫻井康史氏（一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 理事/事務局長、弁護士）に研修資料の作成を依頼し、3月に加盟団体、スポーツ少年団単位団、役員に配布。資料による自主研修とした。

(5) プロジェクトE「全国大会等出場レベルの選手育成強化」

競技水準向上事業の選手育成事業に位置付け、実施した。

※実績は、1 競技水準向上事業 (1)選手育成事業 参照。

3 スポーツ普及・交流事業

＜地域スポーツ推進事業＞

市民のスポーツ活動を奨励するために加盟団体が行う、スポーツの普及及び選手育成を目的とした、各種スポーツイベント、スポーツ教室の開催、及び補給消耗品整備等に要する経費の一部を補助した。

(1) 市民スポーツイベント開催事業

各種スポーツイベントの開催に要する経費の一部を補助した。

15団体：陸上、スキー、ソフトテニス、卓球、馬術、柔道、剣道、アイスホッケー、バウンドテニス、ゲートボール、カーリング、ドッジボール、ゴルフ、エアロビック、グラウンド・ゴルフ

※新型コロナウイルス感染予防のため、10団体で中止（一部中止を含む）。

(2) 市民スポーツ教室開催事業

各種スポーツ教室の開催に要する経費の一部を補助した。

7団体：陸上、スキー、ソフトテニス、馬術、ゲートボール、エアロビック、グラウンド・ゴルフ

※新型コロナウイルス感染予防のため、1団体で中止。

(3) 国体県予選会補助事業

2団体：水泳、ゲートボール

(4) 補給消耗品整備事業

所要の消耗品の購入に要する経費の一部を補助した。

15団体：スキー、バスケットボール、スケート、ソフトテニス、馬術、弓道、剣道、ラグビーフットボール、アイスホッケー、バウンドテニス、ゲートボール、カーリング、ドッジボール、ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ

※新型コロナウイルス感染予防のため、1団体で中止。

(5) **競技団体運営強化事業**

加盟団体の運営・組織強化と、活動の促進を図ることを目的として、補助金を交付した。

40 団体

<スポーツ普及啓発支援事業>

市民の体力向上、スポーツの底辺の拡大と振興を図るために、次の事業を行った。

(6) **スポーツ教室・大会支援事業**

加盟団体が主催する教室及び大会について、長野市の広報紙への掲載手続きや施設事前予約、名義後援等の支援を行った。

(7) **国際大会・国体出場激励金支給事業**

国際大会や国体等に出場する選手に対し、激励金を支給した。

国際大会：スピードスケートワールドカップ 3人
北京オリンピックスピードスケート競技 2人
" スキー競技 3人

国体等：会期前大会及び本大会は中止。

冬季大会 13人（選手・監督）
スピードスケート 5人、フィギュアスケート 1人、アイスホッケー
3人、スキー 4人

(8) **スポーツ功績者表彰事業**

スポーツの振興、競技水準の向上に功績のあった者や、競技会等において、特に優秀な成績を収めた選手、チーム、監督、コーチ及び指導者を表彰した。

功労6人・2団体、栄光57人・1チーム、勲功3人

(9) **機関誌発行及びその他の広報活動事業**

スポーツの普及啓発を図るため、加盟団体やスポーツ少年団の活動の紹介等を掲載した、広報「スポーツナガノ 37・38号」を発行した。また、ホームページにより、加盟団体ならびに市民に対し、スポーツ情報を発信した。

<スポーツ少年団育成事業>

(10) **スポーツ少年団育成事業**

スポーツ少年団育成や指導者の養成のため、団活動、団主催大会への補助や、指導者養成講習会等への参加費の補助を行うとともに、市内小学生対象の地密着型プロスポーツチームとの交流会を開催し、スポーツの素晴らしさを伝えながら、団活動の宣伝や団員の増加を図った。

また、競技別交流大会等への参加費の補助を行った。県競技別交流大会では、7月18日に開催されたミニバスケットボールにおいて運営を支援した。9月に開催予定であった少林寺拳法については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止とした。

令和1年度登録 28 団

令和2年度登録 28 団

令和3年度登録 30 団

4 自主財源の確保

事業の充実のため、個人及び法人の賛助会員の増加を図り、自主財源の確保に努めた。

令和元年度賛助会費 : 個人 74 人、法人 91 社、加盟団体 34 団体

令和2年度賛助会費 : 個人 142 人、法人 93 社、加盟団体 32 団体

令和3年度賛助会費 : 個人 149 人、法人 89 社、加盟団体 32 団体